

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	112いきいきとした高齢社会の形成		
施策のねらい (めざす姿)	高齢者が生きがいをもち、その人らしく暮らしています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	健康福祉部次長
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	マネージャー氏名	斉藤 薫

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	高齢化に伴い対象者の増加が見込まれますが、介護予防や給付の適正化により介護給付費の抑制に努めていく。	③改革・改善内容	高齢化に伴い対象者の増加が見込まれるが、介護予防や給付の適正化を推進し、給付費の適正な給付に努める必要がある。
②①に基づく取り組み結果	介護予防事業の普及・啓発、適正な要介護認定審査、給付の適正化に努めた。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	概ね65歳以上の高齢者	意図(対象をどうするのか)	生きがいをもち、その人らしく暮らせるようにする。
②施策の概要	自立を基本としながら、介助等が必要な対象者には、介護保険制度を活用し、支援する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	高齢化は増加の一途をたどり、要介護認定率の高い75歳以上の高齢者は、2025年には、2万人(H27.4.1現在、11,187人)を超える見込みである。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	介助等が必要な対象者には、介護保険制度を活用し、支援した。 認知症サポーターの増員を図った。 定員70人の特別養護老人ホームを2か所開設した。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	65歳以上要介護認定率	%	13.8	13.6	13.7	14.5
	ii	趣味や習い事などを行っている高齢者の割合(高齢者アンケート)	%	—	62	—	増加
	iii						
③基本事業成果指標	i	「健康である」と答えた高齢者割合(高齢者アンケート)	%	—	63.6	—	増加
	ii	シルバー人材センター会員数	人	457	440	460	600
	iii	特定高齢者介護予防事業参加者数	人	92	89	111	増加
	iv	地域密着型サービス定員総数	人	97	133	108	86
	v	地域包括支援センター整備数	箇所	3	3	3	3
	vi	認知症サポーター養成講座受講者数	人	2,140	3,155	3,998	3,100
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)		平成27年度予算		
事業費(千円)	6,669,520	7,073,947	(単位:円) 65,114 円		7,697,855		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	高齢化の進展に伴い、介助等が必要な対象者が増加する。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	給付費は年々増加しているものの、介助等が必要な対象者には、適切に支援するとともに、適正な要介護認定の審査に努めた。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する事務事業	包括的支援事業に要する経費		
④上記方向性の説明	地域包括ケアシステム(医療、介護、介護予防、住まい、生活支援の連携)の構築には地域包括支援センターの担う役割が大きく、職員の増に伴い予算が増加する。		